

審 議 会 等 会 議 録

発言者	会議のてん末・概要
-----	-----------

○平成 29 年度第 2 回総合教育会議

1 開会

司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)	<p>皆様、こんにちは。 定刻になりましたので、只今から平成 29 年度第 2 回久喜市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>会議に先立ちまして、ご了解いただきたい点がございます。 本会議の公開、傍聴、会議録の作成及び公表、会議録作成のための録音につきましては、前回と同様の取り扱いをさせていただきます。 皆様のご了解をお願いしたいと存じます。</p> <p>次に、会議録に署名する構成員につきましては、市長及び市長が指名する 1 名の構成員が署名するものとなっておりますので、市長からの指名をお願いいたします。</p>
田中市長	<p>それでは会議録に署名する構成員につきましては、教育委員の名簿の順にお願いをしておりますことから、今回の会議録の署名は坪井委員にお願いします。</p>
坪井委員	<p>わかりました。</p>
司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)	<p>ありがとうございます。 それでは、本日の会議録の署名につきましては、田中市長と坪井委員をお願いいたします。 なお、会議録につきましては、後日、教育委員の皆様全員に郵送の上、ご確認をいただきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。</p>

2 市長あいさつ

司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)	<p>それでは、次第に基づきまして進めさせていただきたいと思いません。 はじめに、田中市長からご挨拶をいただきたいと思えます。 よろしくをお願いいたします。</p>
田中市長	<p>皆さんこんにちは。</p>

	<p>本日は平成29年度第2回久喜市総合教育会議のご案内をいたしましたところ、教育委員会の皆様には、お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃から、本市の教育行政の推進につきまして、ご尽力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。</p> <p>本日は、平成29年度の第2回の会議ということで、お手元の次第にございます内容につきまして、協議・調整をお願いするわけでございます。</p> <p>「コミュニティ・スクール」、「小・中学校の適正規模・適正配置」及び「学力向上の取り組み」につきましては、前回の会議におきまして、今回の会議の協議・調整事項としてご提案をいただいた事項となりますが、いずれのテーマにつきましても、教育行政を推進するため重要な取り組みであり、関心が高いテーマであると存じますので、皆様のご意見をお伺いし、意見交換をしてみたいと考えております。</p> <p>また、本市の教育大綱につきましては、平成27年度の第1回総合教育会議において協議・調整し、策定したところでございますが、大綱の計画期間を平成29年度までとしておりますことから、教育大綱につきましても、今回の会議のテーマとしたところでございます。</p> <p>是非、皆様から忌憚のないご意見を賜りまして、有意義な会議となりますことをお願い申しあげまして、簡単ではございますが、開会に際しましてのごあいさつとさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
--	---

3 教育長挨拶

<p>司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)</p>	<p>それでは続きまして、柿沼教育長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>皆様こんにちは。本日は平成29年度第2回久喜市総合教育会議のご案内をいただき、教育委員全員の皆様と出席をさせていただきました。田中市長におかれましては、日頃より教育行政に対し深い理解をいただき、感謝申し上げます。</p> <p>今日の急速なグローバル化、絶え間ない技術革新、そして少子化と、これまで経験したことのない先行き不透明な時代の担い手となる子ども達に対する教育のあり方が問われているところでございます。</p> <p>本日の総合教育会議では、先程、市長からお話がありましたように、本年度から全ての小・中学校が移行しましたコミュニティ・スクール、本市におきましても児童生徒数の減少による小規模化が進んでいる学校がありますが、この小・中学校の適正規模・適正配置について、更には、時代を生きる子どもたちの学力向上の取り組みなど大</p>

	<p>変重要なテーマを取り上げていただきました。合併して8年になりますが、本市の教育行政を更に充実・発展させるために、様々な面で市長との話し合いができますこの総合教育会議は大変重要であるという認識でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
--	---

4 資料確認

<p>司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4、協議・調整事項に入る前に配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(1) 平成29年度 第2回久喜市総合教育会議次第</p> <p>(2) <u>資料1</u> コミュニティ・スクールを推進します</p> <p>(3) <u>資料2</u> 学校統廃合等に関する検討状況について</p> <p>(4) <u>資料3</u> 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について</p> <p>(5) <u>資料4</u> 久喜市教育大綱について</p> <p>以上、次第を含めまして5点でございますが、お手元でございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と言う声あり〕</p> <p>ありがとうございます。</p>
-------------------------------------	--

4 協議・調整事項 (1) コミュニティ・スクールについて

<p>司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)</p>	<p>それでは、次第4、協議・調整事項に入らせていただきます。</p> <p>久喜市総合教育会議運営要綱第3条の規定に、総合教育会議は、市長が招集し、その議長となると定めております。</p> <p>このようなことから、田中市長に議長をお願いいたします。</p> <p>なお、議長として会議を進行していただきますが、併せて協議・調整にも加わっていただきたいと思っております。</p> <p>それでは、田中市長、よろしくお願いいたします。</p>
<p>田中議長</p>	<p>それでは、ここからしばらくの間、私が議長として進めさせていただきます。よろしくお願いいたします</p> <p>お手元の次第に沿って進めてまいります。まず協議・調整事項の(1) コミュニティ・スクールについてでございます。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p>

堀内指導主事兼
参事兼指導課長

それでは、コミュニティ・スクールにつきまして指導課よりご説明いたします。

はじめに、資料1の1ページ目をご覧ください。久喜市では、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで一緒に協働しながら、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校」づくりを推進するため、平成29年4月より、県内では初めて市内全34校で学校運営協議会制度、いわゆるコミュニティ・スクールをスタートさせました。

2ページ目の上段をご覧ください。コミュニティ・スクールの設置状況でございますが、平成29年4月1日現在、全国で3,600校、11.7%にとどまっており、埼玉県では105校、8.6%で、市内全小・中学校に設置をしているのは久喜市と深谷市だけでございます。

資料の中段をご覧ください。各学校の学校運営協議会の委員は10名以内となっており、校長の推薦のもと教育委員会が311名に委嘱を行いました。半数近くが通学区域内の住民の皆様をお願いしており、続いて、保護者、教職員、学識経験者の皆様と続けております。平均年齢は53.2歳、男女比は男性7、女性3となっております。

資料の下の欄をご覧ください。学校運営協議会の主な役割といたしましては、校長が作成する学校経営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べたりすることが挙げられます。

先程も申し上げましたように、コミュニティ・スクールは先進的な取り組みであり、委員の皆様からも「イメージが湧かない」という声が寄せられましたことから、指導課では本年度委嘱式後の4月19日に第1回全員研修会をアミーゴで開催し、文部科学省コミュニティ・スクール推進委員から講演をいただきました。また、10月14日の土曜日に第2回全員研修会を鷲宮中学校で開催し、太東中学校区での取り組み事例の発表やグループ協議による情報交換を行いました。

資料の3ページ目をご覧ください。ここでは、各校において学校や運営協議会委員から示された現状と課題について協議され、それに基づいて地域の皆様とともに活動へとつながった一例をご紹介します。学校といたしましては、地域の皆様に支えられていることのありがたさを改めて実感するとともに、地域の皆様からは「今まで学校に協力しづらい雰囲気があったが、子どもたちのために活動できることは楽しい」という声が聞かれるようになったという報告もあったところでございます。

全小・中学校におけるコミュニティ・スクールがスタートして半年が過ぎました。過日の第2回全員研修会での協議内容を伺っておりますと、学校によって開催回数や協議内容に差があったり、協議会の中でも当事者として熟議するところまで至っていないというご意見も聞かれましたが、多くの方の意見を総括いたしますと、着実に歩みを進めているとの手応えを感じております。指導課といたしましては、先進的な取り組みをしている学校の例を紹介するなど、今後も久喜らしいコミュニティ・スクールを求めて、継続的な支援を続けてまいりた

	<p>いと考えております。 コミュニティ・スクールにつきましては以上でございます。よろしくお願いたします。</p>
田中議長	<p>ただいま事務局からコミュニティ・スクールについての説明がございました。全県下の中で深谷市と久喜市だけが全校でやっているとの説明でございました。その他、研修会等々の説明もありましたが、いかがでしょうか。</p>
坪井委員	<p>私は、栗橋地区在住でして、9月の中旬に栗橋地区の連絡会に参加させていただきました。各運営協議会から活動内容の説明がありまして、若干の温度差といいますか、運営の状況の違いはありましたが、学校と地域がどのように進んだらいいか、模索している状況がうかがえ、着実に動き出しているなという感じを受けました。</p>
榎本委員	<p>2ページ目の中段のところで、平均年齢の53.2歳ということで、細かいデータありがとうございます。その中のもう一つ細かく聞きたいのですが、この通学地域内の住民というところの140名、一番ボリュームが多い45%の方たちの平均年齢というのはわかりますか。</p>
柿沼教育長	<p>53歳よりは上になります。</p>
榎本委員	<p>最高年齢などの幅を知りたいのですが。</p>
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	<p>申し訳ございませんが、資料が手元ございません。</p>
榎本委員	<p>3ページ目の太東中学校の剪定隊とか、実際にやってくれる人も運営協議会の中に入っているのか、見守り隊のように別なのでしょう</p>
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	<p>学校によって全く違いますが、例えば学校応援団の代表がこの委員になっている学校もありますし、あるいはここで話し合われたことを学校応援団代表に伝えているという学校もありますので、その形態は統一されていないところでございます。</p>
榎本委員	<p>特に中学校区というくくりでやっていると、小学校が2校のところや3校のところがあるので、相当範囲の広さというか、人の数も必要だと思えますが、そんなにやる人がいないのではないかなと思います。</p>
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	<p>もちろん小学校で委員になられて、同じ中学校の委員になられている方も数名はいらっしゃると思います。</p>

榎本委員	重複しているわけですか。
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	重複している方も数名いらっしゃいますが、ほとんどが小学校は小学校、中学校は中学校でやっています。
榎本委員	再任2年で妨げないというふうに書いてあるので、結局これは本人が辞めますと言ったときに辞めるということですか。
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	<p>それもありますし、校長の推薦になっていますから、校長が、次はこういう課題があるので、こういう方に代わりに入っていただくということもあるかと思っています。</p> <p>今までですと、校長が3年とか4年で代わってしまうと、学校の方針が変わる可能性もございましたが、これからは地域としっかりと核をつくっていくということですので、可能であるならば長くやっていただくこともあるかなと思います。</p>
榎本委員	長く委員を続けることの弊害が心配されますが、これから始まったばかりですので、私もしっかり見守り隊になりたいと思っています。
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	はい、ありがとうございます。
田中議長	では、平均年齢の関係のデータは後で提出をお願いします。
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	わかりました。
諸橋委員	<p>私は、砂原小学校の学校運営協議会をさせていただいているのですが、委員さんの認識の違いで、なかなか会議が前に進まなかったりと、ほかの学校においても、そういったお話を聞いています。希薄化した地域コミュニティを活性化させるためには、コミュニティ・スクールというのは大事な取り組みだと思います。会議の中で学校側は、悩みや困っていることを正直に言っていただいて、私たちは何ができるかというようなことを話し合い、いつでも良い学校をつくっていこうというような取り組みをしていきたいと思っています。時間はかかると思いますが、皆で目標に向かって頑張っていこうと努力しております。</p> <p>また、この委員は管理職の方がほとんどなのですが、例えば一般の教員の先生方もこうした会議の中に入っていただいて、管理職が気付かない色々な問題点を率直に話していただくと、身近な悩みをこちらでも共有できるのかと思いますので、会議の仕方も工夫が必要であると思っています。</p>

田中議長	ありがとうございました。
狩野委員	<p>こういう研修会に私も参加できないのもあるのですが、家にいて子どもと話しても、情報としてコミュニティ・スクールというのがあまり浸透していないというのが印象です。まだ始まったばかりなので、1年を通して実施してみて、いい点、悪い点を総括した上で、年々よりいいものに仕上げていってもらえればいいのではないかと思います。</p> <p>先ほど校長先生が代わる、代わらないという話がありましたが、トップが代われればやはり色というのも変わってくると思いますので、長く同じ人にといいのも何か問題点も出てきてしまうのかなと感じました。</p>
田中議長	事務局に聞きたいのですが、学校運営協議会を最も多く実施しているところは何回ぐらい実施しているのか、少ないところはどの程度ですか。
堀内指導主事兼参事兼指導課長	多いところは月に1回実施しており、半分以上の学校は実施しております。一番少ないのはこれまでに2回という報告があったところでございます。
田中議長	ちなみにどこですか。
堀内指導主事兼参事兼指導課長	久喜中学校が2回です。
田中議長	一番多いテーマは何ですか。
堀内指導主事兼参事兼指導課長	最初は学校整備、環境整備が多いのですが、少し進んでくると子どもの学力向上についてや学習の課題などをテーマとする学校が増えてきています。
柿沼教育長	<p>このコミュニティ・スクール、学校運営協議会制度をどう地域の方に知ってもらおうかということも大事なことと思います。学校によってはこの学校運営協議会で協議していただきたい課題を回覧で地域の方全戸にお願いしたというところもあるので、私もそのような地域の方に色々お話を聞くと、あれがコミュニティ・スクールなのかという反応をされることもあります。</p> <p>よりこの存在を知ってもらうことが大事であると思い、校長が学校運営協議会の委員長さんと一緒に、どう進めていくかを協議しているところです。</p> <p>職員の中でも温度差があったりしますので、まずは職員で共通理解をし、保護者、そして地域と広がっていければいいのかなと思っております。色々な情報を私どもも校長会等で共有しながら進めてまいり</p>

地域の方を対象に説明会を開催したところでございます。

続きまして、8月22日、第3回目の審議会を開催いたしました。これにつきましても8月4日、5日の説明会の内容の報告等を行ったところでございます。

続きまして、2ページでございます。9月14日、9月20日、9月22日、江面第二小学校の保護者座談会が開催されました。この座談会につきましては、PTA主催の座談会で、保護者同士で互いにざっくばらんに意見交換をするという趣旨から開催されたということですが、要望があったものですから、教育委員会事務局も参加をさせていただきました。

その後、10月16日、第4回目の審議会でございます。内容といたしましては、保護者の座談会の報告や江面第二小学校の統廃合の検討についてでございます。

ここで、矢印の下でございますが、このようなことが承認されたということで記載をさせていただいております。江面第二小学校の統廃合の検討に対して、以下の事項を案として保護者や地域住民に説明することについて承認をされたという内容でございます。

- ① 統廃合の相手校を江面第一小学校とすること
- ② 学校統廃合を行う場合の時期を平成32年度とすること
- ③ 江面第二小学校と江面第一小学校との統廃合による新たな学校の校地を江面第一小学校とすること
- ④ 学校施設の跡地利用に関しては、保護者や地域住民から意見を伺いながら検討を進めること

以上のことが承認されまして、今後案という形で地域の方にお示しをしていくというような予定でございます。

これらを踏まえまして、2ページの2番、今後の予定についてでございます。江面第二小学校の統廃合の検討を継続して行うとともに、現在江面第二小学校、江面第一小学校の説明会とまた予定してございます。11月10日、11日、13日と3回予定してございます。今週になりますが、それを先ほどの①から④のことを案としてお示しをしていきたいと考えてございます。

また、小林小学校、上内小学校及び菖蒲南中学校についても検討を進めるということで、こちらにつきましては、12月10日に地域の説明会を開催いたしますが、小林小学校は、菖蒲南中学校が中学校区であることから、併せて検討を行うということで、同日の開催を考えているところでございます。さらに、この学校区に関係しております栢間小学校にもお声掛けさせていただく予定でございます。

続きまして、3ページ、4ページでございます。まず、3ページが江面第二小学校及び江面第一小学校の統計でございます。江面第二小学校と江面第一小学校の統合をお示ししますことから、このような統計を作ったところでございます。特徴的なところで申し上げますと、平成31年度に江面第二小学校で2年生、3年生で複式学級が見込まれて、さらに平成33年度には、複式学級が2クラスの見込みとなっております。

	<p>また、少し細かいところですが、平成34年度の江面第二小学校の1年生は児童数が3人ということです。なお、男女別では、男子が3人の女子が0人と、そのような統計もございました。</p> <p>続きまして、4ページでございます。その他の関係する学校で、現在諮問をさせていただいております小林小学校、上内小学校、そして菖蒲南中学校の状況をお示しさせていただきました。</p> <p>小林小学校につきましては、平成33年度から2年生、3年生での複式が見込まれているということでございます。また、平成35年度の1年生は6人となっております。</p> <p>次に、上内小学校につきましては、現在は解消されておりますが、昨年基本方針を立てた際は、複式学級が見込まれておりました。しかし、上内小学校は、学校区がわし宮団地という関係から、住民の方の出入りが多いということで、今後また複式学級となる見込みになる可能性もあるなどの特徴がございます。</p> <p>最後に、菖蒲南中学校は、現在1年生から3年生までで122人、5クラスでございますが、これが平成35年度になりますと全学年で106人、3クラスということで、クラス替えもできないという状況になるということでございます。また、前回の会議においても部活動の編成が課題であるなどといったご意見もいただきましたように、そういった面からも保護者の方のご意見を伺っていきたく思っているところでございます。</p> <p>資料の説明につきまして、以上でございます。</p>
田中議長	<p>ただいま(2)小・中学校の適正規模・適正配置についての説明がございました。この関係でご質問、ご意見ございましたら、お願いいたします。</p>
榎本委員	<p>統廃合に関して2ページのところで、案として10月16日のときの②で学校統廃合を行う場合の時期として、平成32年度と書いてあるのですが、これは平成32年度内に手続きを行って、平成33年度からスタートということですか。</p>
折原学務課長	<p>審議会での審議においては、平成32年4月の開校を目指すということで示させていただきました。先ほどの資料の3ページをご覧くださいますと、平成33年度には、複式学級が2クラスになる見込みとなっており、特に大きなポイントになるというご心配が、保護者の方からもあったところです。座談会でもいただいたご意見ですが、その前にできるだけ早い段階にということで、平成32年4月からの案を示させていただいたところです。</p>
榎本委員	<p>小林小学校は平成33年度から複式学級が見込まれる状況ですが、翌年ぐらいに統廃合を考えているのでしょうか。また、菖蒲南中学校の場合は複式学級というわけではなく、完全な統廃合というのを視野に入れての説明会になると思いますが、統廃合の説明会は何年度ぐら</p>

	<p>いをめどに行われますか。</p>
<p>折原学務課長</p>	<p>小林小学校、また菖蒲南中学校については、具体的な年度ということは特に考えておりませんが、考え方といたしましては、小規模化によるデメリットを、できる限り早い段階で解消したいという思いが教育委員会としてはございます。</p> <p>その中で、例えば小林小学校において、平成33年度から複式学級となる見込があることや、菖蒲南中学校においては、平成35年度には全ての学年でクラス替えができないという状況になることがございますので、まずはそのような統計を見ながら地域や保護者の方の意見を、収集したいと考えているところでございます。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>コミュニティ・スクールとの兼ね合いになりますが、菖蒲中学校は小学校が3校、菖蒲南中学校は小学校が2校なっておりまして、今後、菖蒲南中学校自体が統廃合になると、小林小学校と栢間小学校は菖蒲中学校になってくるといことになりますね。</p>
<p>折原学務課長</p>	<p>そうですね。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>それでも、菖蒲南中学校を中心にコミュニティ・スクールは進めているわけですね。</p>
<p>折原学務課長</p>	<p>はい。</p>
<p>狩野委員</p>	<p>ちょっと勉強不足ではありますが、複式学級にならないと統廃合というのはできないものですか。</p>
<p>折原学務課長</p>	<p>決してそういうことではございません。</p> <p>教育委員会で定めた基準といたしまして、望ましい学級数というのがあり、複式学級は1つの目安となっています。複式学級になる状況にある学校について、喫緊の課題として、統廃合についての検討を進めているということであり、複式学級を回避しさえすれば検討しないということでは決してございません。</p>
<p>狩野委員</p>	<p>そうですね、もう1点よろしいですか。</p> <p>統廃合については、保護者や地域住民からの意見を伺いながら検討を進めるところなので統廃合が確定というわけではないわけですね。それで、反対が出て統廃合がなくなるという場合もあるのですか。</p>
<p>折原学務課長</p>	<p>教育委員会としましては、地域の方や保護者の方に、子どもたちの環境整備ということで理解をさせていただいて、統廃合を進めていきたいという思いで、この説明会にも取り組んでいきたいと考えているところでございます。</p>

狩野委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>自分の意見としては、学校の子どもが少ないと、人との出会いや競争意識などが薄れてきてしまいますので、早めに統廃合を進めるべきなのではないかとは思っています。</p>
坪井委員	<p>ちょっとわからないのですが、江面第一小学校と江面第二小学校の敷地、校庭の敷地などはどんな状況になっているのでしょうか。</p>
折原学務課長	<p>建物の敷地ですと江面第一小学校が約8,000平方メートル、対しまして江面第二小学校が約3,000平方メートルになります。また、運動場はほとんど同じで、両方とも約5,500平方メートルでございます。</p>
坪井委員	<p>ありがとうございます。もう1点伺います。複式学級の可能性を示唆しながら統廃合を検討していくわけですが、将来的に再度統廃合の可能性があるのでないかという懸念もあり、最終的にどのようなところに小学校を設置して、どのように向かっていくかというビジョンも必要になってくるという感じがしますが、どうでしょうか。</p>
折原学務課長	<p>例えば、江面第一小学校と江面第二小学校の場合、同じく久喜南中学校の中学校区である清久小学校の統廃合ということも検討には入ってきます。さらに久喜南中学校と、久喜中学校との統廃合の検討の可能性も考えられるところであり、どこから検討すべきかという課題が出てきます。しかしながら、まずは小規模化の一番著しい江面第二小学校、そしてその相手校として、昔からの江面村というくくりがある江面第一小学校を最優先に取り組みたいということを考えているところでございます。</p> <p>ただ、今、坪井委員さんがおっしゃったように、将来的な課題としては市内全体において、どれくらいの学校規模にするかということも当然検討していかなくてはいけないとは思っていますが、今の段階ですと、まずはこの学校での検討を進めて、状況を見ながら、さらなる検討が必要であると考えているところでございます。</p>
諸橋委員	<p>統廃合の対象になっている小林小学校の放課後子ども教室の見学に行かせていただいたのですが、人なつこい子たちが多くて、挨拶もしっかりしてくれますし、地域の方からも大事にされているのがわかる状況でした。学校自体も周りが緑豊かで、伝統校でもありますし、そのような学校がなくなってしまうというのはとても残念なことですが、子どものことを考えたときに、小さいころから多様性がある環境で過ごすことは大切であると思います。</p> <p>今もお話がありましたが、例えば中学校区で考えたときに、久喜南中学校に小学校3校が行くわけですね。だから、そういった3校が小中一貫校としていって、新しい久喜市のモデル校として再生させるというのも一つの案なのかなとも思います。これまでに2回ほど説明会</p>

	<p>の傍聴もさせていただいたのですが、地域の方の反対も多かったように思います。全員が賛成するというは無理だと思いますが、できるだけ対話を重ね、少しでも反対の方が少なくなるような協議を進めていただきたいと思います。</p>
田中議長	<p>ご意見ということでよろしいですか。</p>
諸橋委員	<p>はい。</p>
榎本委員	<p>この統廃合に関しまして、在学中の小学生、中学生は、保護者がすぐ声がけすれば集まると思いますが、これからの入学予定者の保護者の方向けの説明会はあるのでしょうか。</p>
折原学務課長	<p>本日の資料で申し上げますと、資料の1ページでございます。8月4日に江面第二小学校の主に保護者を対象にしたとございますが、このときに未就学の方にもお声がけをさせていただきました。</p> <p>また、今度の11月の説明会は、全世帯に対してご案内し、改めて案を提示します。アンケートもとりますので、その中でより細かいご要望も把握していきたいと思っております。</p>
榎本委員	<p>ありがとうございました。</p>
田中議長	<p>この4ページの資料は、この会場の出席した保護者には配ってあるのですか。</p>
折原学務課長	<p>この小学校区だけの資料ということでお配りしようと思っております。例えば上内小学校での説明会であれば、この4ページの上内小学校の部分のみですとか、菖蒲南中学校の会場であれば、菖蒲南中学校と小林小学校と栢間小学校を併せて出してもいいかと思いますが、関係する学校の統計ということで、情報提供をしていければと考えてございます。</p>
田中議長	<p>小学校だけ、あるいは中学校だけというわけにいかないのではないですか、そういう議論になってくれば。あと、3ページのこの一覧表は今までの説明会で配っているのですか。</p>
折原学務課長	<p>これは8月4日、5日に江面第二小学校と江面第一小学校で説明を行った際、3ページの資料を配付してございます。</p>
田中議長	<p>では、反対なさっている方は平成34年度の子どもの数、1年生3人というのは知っているのですね。</p>
折原学務課長	<p>知っています。</p>

田中議長	<p>コミュニティがなくなるというのが意見としてあるようですが、コミュニティは大人がつくり、子どもがつくるわけではないのです。</p> <p>現在までに複式学級にならなければいけないときに、市費で教師を任用し、財政面でサポートしてきました。しかし、費用のことよりも、子どもたちの教育のために何を一番優先すべきかということを行いながら私も取り組んでいるし、教育長もそうだと思います。あるいは、ここにおられる皆さんもそうだと思います。</p> <p>確かにコミュニティがなくなるという心配も一部あるかもしれませんが、統合後のコミュニティをどうするのだということは別に議論してもらわないと、それを大上段に学校統合の中で構えられては、いつになっても解決しないし、3人あるいは4人とか、そういった非常に小規模な学校もこれから出てくる可能性もあると思っています。</p> <p>今後、子どもたちに迷惑がかかってはいけませんので、議論を重ねていきたいと考えており、基本的には子どもたちのため、どういった制度が一番いいのかを中心に私は議論したいと思っています。</p> <p>ほかにありますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、この関係は今後ともご意見を承りながら進めてまいりますので、よろしくお願いを申し上げます。</p>
------	--

4 協議・調整事項 (3) 学力向上の取り組みについて

<p>田中議長</p> <p>堀内指導主事兼 参事兼指導課長</p>	<p>続きまして、(3) 学力向上の取り組みでございます。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>それでは、学力向上に係る施策につきまして指導課よりご説明いたします。</p> <p>はじめに、本市の現状につきまして2つの調査からご説明いたします。資料3の1ページ目をご覧ください。こちらは本年4月に小学校6年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の結果でございます。全体では全国の平均正答率とほぼ同じであります。右下の成果と課題にございますように、平成28年度当初と比較いたしますと、国語は5項目、算数は4項目で大きく改善が見られました。</p> <p>資料の2ページ目をご覧ください。こちらは中学校3年生を対象に実施いたしました結果でございます。中学校も全国の平均正答率とほぼ同じであります。国語は3項目、数学は5項目で大きな改善が見られました。また、小・中学校とも右ページの中段に児童生徒の質問紙の一部を載せてございますが、「朝食を毎日食べる」、「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦する」など、ほぼ全ての項目で国や県を上回っており、生活や生き方についてしっかりとした考えを持ち、行動していることを見とることが出来ます。</p>
--	--

次に、3ページ目をご覧ください。こちらは、本年4月に実施いたしました「埼玉県学力・学習状況調査結果」でございます。先程の国の調査は全国の中での県、市町村、学校、個人の相対的な位置が明らかになるのに対しまして、県の調査は児童生徒一人一人の1年間の伸びや、これに伴います学校や市町村の全体的な伸びを明らかにすることに主眼を置いて、小学校4年生から中学校3年生を対象として実施しております。

上段の表をご覧くださいとおわかりになると思いますが、久喜市の子どもたちの平均正答率は全ての学年、教科において県平均を上回っており、2ポイント以上も上回った学年、教科もございます。また、中段の表にありますように、1年間の伸びという視点でも多くの児童生徒に大きな伸びが見られ、それが市全体の伸びにあらわれております。特に中学3年の英語は県全体も伸びていますが、久喜市も4段階と大きく伸びております。

資料4ページ目をご覧ください。こちらは、質問紙調査の結果でございます。県平均に比べまして、久喜市の子どもたちは多くが肯定的に回答しております。特に「勉強は好きだ」と答えた割合や将来の夢や目標を持っている割合は、全ての学年で県平均を上回っております。一方で、「自分によいところがあると思う」、いわゆる自己肯定感を持っている割合は、特に中学1年で低くなっています。また、小学4年生と中学1年生では平日に2時間以上ゲームをすると答えた割合が高く、大きな課題と考えております。

続いて、5ページ目をご覧ください。先ほどの調査結果等も踏まえ、現在指導課では「子どもを育てるなら久喜市で」をキャッチフレーズに、全ての子どもたちの学力を保證する施策「本気・本樹の学力向上プロジェクト」を掲げて取り組んでおります。主なものとして、

- 1 指導主事の学校訪問による教職員の指導力向上に向けた指導支援
 - 2 指導主事による研究職や校内研修への指導
 - 3 市内代表教員15名による学力向上推進研究委員会での授業改善に向けた研究開発
 - 4 久喜市版家庭学習の手引きの作成・配布
- などがございます。

また、久喜市独自のものとして、資料の中央に太字で記載してございますが、田中市長の「No.1宣言」を受けて大きく3つの学力向上に関する先進的な取り組みを行っております。1つ目がICT教育の充実でございます。昨年度までに全ての小・中学校にどの教室でも活用できるタブレット端末を各校9台ずつ導入していただき、新学習指導要領の目玉である主体的、対話的で深い学び、いわゆる「アクティブラーニング」や「プログラミング学習」など、大変多くの面で活用されております。また、並行いたしまして、平成30年度までには全ての小・中学校のコンピューター室のパソコン40台もタブレット型に入れ替え、1人1台活用できる体制を整えてまいります。

2つ目は、英語教育の充実でございます。現在17名の外国語指導助手、いわゆるALTを採用していただいております、平成28年度は小学校5、6年生の授業はほぼ全ての時間で担任とALTとのチームティーチングを行うことができ、中学校でも週1時間はALTと授業を行うことができました。このことにより、ナチュラルな発音や異文化に触れることができるとともに、外国人に対して臆することなく積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育むことができます。来年度からは、久喜市では新学習指導要領の先行実施を行いますことから、小学校3、4年生でも新たに週1時間、5、6年生では週2時間が英語の時間となり、中学校も週4時間でございますので、ALTの配置を含めた授業のあり方につきまして現在研究を進めておるところでございます。

3つ目は、理数教育の充実でございます。子どもたちの理数離れが叫ばれて久しくなりますが、本市ではいち早く理科支援員を小学校に配置していただいております。これは退職した教職員を中心に6名を採用し、小学校1校当たり年間30回程度理科の授業の補助に当たっております。授業では、仮説に基づいた実証実験のおもしろさを伝えるとともに、実験の準備や薬品管理も適正に行っていただいております。大きな成果を上げているところでございます。

続きまして、平成29年度から始めた新規事業につきまして2点ご説明いたします。はじめに、6ページをご覧ください。「久喜市ステップアップテスト事業」でございます。先程ご説明いたしました全国や県の調査は年1回、4月に行われるものであり、時期的に間延びしてしまい、授業改善を含めた学校としての取り組みの成果や子ども一人一人の伸びが見えづらいという課題がございます。そこで、指導課ではもっと小刻みに学校や子どもにステップアップを実感し、自信や学習意欲につなげてもらおうと、本年度6月から市内全ての小・中学校で毎月の月末に指導課作成の簡単なテストを実施しております。対象学年や実施科目、また調査用紙や回答用紙はお手元の資料をごらんください。調査終了後は、指導課で採点し、結果を個表にして返却しております。子どもたちの感想の中には、「1カ月間頑張ったときには問題をすらすら解けて、自分の力がついたことが個表のグラフからわかって嬉しいし、怠けたときはステップアップしないので、次は頑張ろうという気持ちになる」という声も聞かれておるところでございます。

次に、もう一つの新規事業でございますが、7ページ目をご覧ください。「くき本樹塾」でございます。本事業は、未来を担う久喜市の子どもたちを健やかに育むために、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分身につけておらず、学習が遅れがちな中学生を対象として、市内全中学校に無料の学習塾を開校し、子どもたちが安心して学習できる環境を整備するものでございます。本年度は、諸調査の結果などを考慮しながら、試行的に久喜南中学校、菖蒲中学校、鷺宮西中学校でスタートいたしました。参加は希望制でございますが、主に学習が遅れがちな生徒を中心に、資料にございます人数が参加してお

	<p>ります。指導者につきましては、地域人材を活用し、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを推進することを念頭に、応募者40名の中から指導課で書類審査と面接を実施し、17名の方に委嘱を行いました。内訳でございますが、退職教員6名、教員経験者2名、教員免許保有者6名、教員を目指す大学生3名で、平均年齢は48.5歳、男女比は8対9となっております。</p> <p>6月26日には菖蒲中学校を皮切りに3校それぞれにおきまして第1回目の学習会を開催いたしました。最初に、コーディネーターから学習の進め方の説明があり、約2時間、各人に応じた復習を中心とした課題に取り組みました。私も夏季休業中に3校の様子を見てまいりましたが、参加していた生徒全員がとても真剣に取り組んでおり、生徒からは「わかりやすかった」、「自信が出てきた」という声や、たまたま来校していた保護者と話をしたところ、「近くには民間の塾もなく、たとえあったとしても夜の送り迎えをすることができず、こうして勉強する機会を与えていただけるとありがたい」という声を聞くことができました。このように、本事業につきましてはこちらの予想以上に保護者、教員からの事業拡大を望む声がありますことから、平成30年度につきましては市内全11中学校に拡大できないか検討を行っているところでございます。</p> <p>説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。</p>
田中議長	<p>学力向上の取り組みについて説明がありましたが、ご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。</p>
柿沼教育長	<p>全国学力・学習状況調査の結果ですが、久喜市と埼玉県のところはコンマ以下がありません。これまではコンマ第1位まで出していたのですが、順位を争うことが目的ではないことから、今年度から国が発表しないことになっています。</p> <p>この学力テストの本来の目的が子どもたちにとっては自分の学習を振りかえる、先生方には学習の指導法を反省してもらい、検討してもらいという意味がありますので、競争するという目的ではないので、そういうような措置になったということでございます。</p>
田中議長	<p>このAとBの違いは何でしょうか。</p>
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	<p>Aは基礎的、基本的な問題、Bは思考力、判断力、表現力を含めた応用的な問題になります。</p>
榎本委員	<p>2点だけ。1点は、本樹塾についてですが、とりあえず成果が上がっているのはいいのですが、これは中3の生徒を対象に、高校受験に向けてのものですか。</p>
堀内指導主事兼 参事兼指導課長	<p>高校受験も視野には入っていますが、基本的には日々の授業の復習が基本です。学校によっては、中学1年生と2年生が参加している学</p>

<p>榎本委員</p>	<p>校もごさいます。</p> <p>中3をメインで実施していると思いますが、受験が視野に入っているのは明らかです。ただ小学校4年生ぐらいから勉強が遅れている子どももいるように、中3ですらやってもちょっと遅いので、小学生のうちにやっておくという本気度が指導課にあるのかどうか。</p> <p>あとは、もう一つは自宅の周りになかなか塾がなくて行けないという生徒もいらっしゃるということですが、要は高校受験のときに必要なのが、いわゆる偏差値という数値だと思いますが、その偏差値というのは学校側では出せますか。</p>
<p>堀内指導主事兼 参事兼指導課長</p>	<p>出していないです。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>高校受験の1つの目安としては、その数値というのを先生が必要としますよね。やっぱり私塾に行くか、あとは業者のテストを受けて、第三者の評価がないと、進路指導ができないのではと思っています。業者テストを受けない生徒が、高校はどこへ行ったらいいですかと言われたときに、先生は結構困ってしまうのではないかと思います。僕らのときには学校で受けられたものですから、非常に答えづらいとは思いますが、その偏差値というものについて、先生としてはどのように捉えているのかをお聞きしたいと思います。</p>
<p>堀内指導主事兼 参事兼指導課長</p>	<p>「本樹塾」という塾という名称になっていると、どうしても民間とダブる部分があるのですが、基本的にこの塾は学習塾とか、いわゆる営利を目的としたものではありません。あくまで少し平均よりも遅れているという子どもたちに力をつけさせてあげることが目的ですから、受験とは切り離して考えることが必要かなと思っています。</p> <p>中学校の進路指導に関しましては、もちろん業者テストを受けて、その結果をあえて面談のときに持ってくるご家庭もありますが、学校からそれを示してくださいということは言っておりません。</p>
<p>榎本委員</p>	<p>言わないのですか。</p>
<p>堀内指導主事兼 参事兼指導課長</p>	<p>言わなくても進路指導はできます。</p>
<p>柿沼教育長</p>	<p>民間のいわゆる業者テストの偏差値とは別に、校長会で公的テストというのを埼玉県ではやれることになって、もう随分前から年に何回もやっています。その蓄積があるので、学校としての進路指導はできます。ただ、私立高校との事前の相談とかというのは、基本的に県教委がそれを禁じているので、学校はできません。</p>
<p>田中議長</p>	<p>他にいかがですか。</p>

柿沼教育長	<p>では、1点すみません。学力テストというと、点数だけにどうしても目が行きがちですが、先ほど指導課長から話がありましたように、質問紙というのがございます。これが非常にとても重要で、この質問紙とこの小学校の学力の相関性を私どもよく確認し、生活習慣や学習態度を改めるとか、子どもの個々の指導に生かせるので、この質問紙のデータもあわせて保護者にも見ていただきたいなというふうに思っています。それぞれ子どもの点数だけにならないように、ぜひお願いしたいというふうに思っています。</p>
諸橋委員	<p>学力が二極化しており、できる子はできて、学力に問題がある子は、相当問題があるというふうに聞くのですが、子どもが在学していた小学校では、放課後に先生による学習のサポートというのをしております、実際にそれに応募して、たくさんのお子さんが学力向上に向けて勉強していると聞いています。先生方もまた忙しくちょっと軋轢があるというふうにも聞きます。</p> <p>そのような中で、なるべく先生の負担を強いらぬような、組織的に外部の方のボランティアといいますか、そういった形で先ほどもありました小学校のうちから、子どもの学力を上げるというような取り組みが必要なかなとも思います。先生方が忙しければ、例えばコミュニティ・スクールにつながってくるのですが、そういった地域の方々が先生のサポートをすることで、授業の質の向上ということにも繋がるかなと思っています。</p>
柿沼教育長	<p>現にもう学校運営協議会で、子どもたちの学力が課題であると呼びかけをして、例えば昼休みとか放課後に地域の方が入って、補習をやっているという学校も出てきました。そういう活動が少しずつ広まっていくとは思っています。</p>
田中議長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>それでは、他にないようでありますので、次に進めてまいります。</p>

4 協議・調整事項 (4) 久喜市教育大綱について

田中議長	<p>続きまして、協議・調整事項の(4)久喜市教育大綱についてでございます。内容につきまして、事務局より説明をお願いします。</p>
木村企画政策課 課長補佐兼係長	<p>「久喜市教育大綱につきまして」企画政策課より説明をいたします。資料4をご覧ください。</p> <p>新旧形式の資料でございますが、旧が現在の教育大綱となっております。資料の中で太字の部分が、「変更箇所」でございます。</p> <p>本市における教育大綱につきましては、平成25年10月に策定した、久喜市教育振興基本計画における「基本理念」、「基本方針」、</p>

	<p>「基本目標」の部分を教育大綱として位置付けることとし、対象期間は、当該計画が満了する平成29年度までとしているところでございます。</p> <p>このようなことから、大綱を決定しなければならないところではありますが、引き続き、久喜市教育振興計画の基本理念等を、教育大綱と位置づけることとし、対象期間を、教育振興計画の対象期間である平成30年度～34年度までの5年間としたいと考えておりますことから、協議・調整をお願いするものでございます。</p> <p>まず、基本理念の「久喜市教育大綱を定めました」を「久喜市教育大綱を定めます」に改めさせていただきます。また、基本理念と基本目標につきましては、同様の内容でございます。基本目標につきましては、「地域・小学校」を「小学校・地域」と入れ替えていただきます。次に、裏面でございます。基本目標3ですが、事業の終了に併せ、文言の整理を行っております。基本目標6ですが、文言の統一を図っております。最後に基本目標7ですが、久喜市総合振興計画後期基本計画案に併せ、文言について改定をさせていただきます。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。よろしくお願いいたします。</p> <p>田中議長 事務局からの説明は以上ですがご意見はございますか。</p> <p>坪井委員 総合振興計画案との整合性を図るために一部修正の必要があることに異議はありません。</p> <p>田中議長 他にご意見はないでしょうか。</p> <p>ご意見がないようですので、久喜市教育大綱につきましては、久喜市教育振興基本計画をもって、久喜市教育大綱とするという方針で決定させていただきますがよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「はい」と言う声あり〕</p> <p>それでは、そのように決定させていただきます。</p>
--	---

4 協議・調整事項 (5) その他

田中議長	<p>本日の協議・調整事項は以上でございますが、次回以降もテーマに基づいて意見交換を行いたいと考えております。</p> <p>次回以降のテーマでございますが、皆様からの提案などはございませんでしょうか。</p>
榎本委員	<p>最近では凄惨な事件があり、高校生なども被害者となり、若い世代</p>

田中議長	<p>にSNSのツールが大きな影響を与えています。SNSに関する専門家を招いて学びの場を設けるなど、学校の先生方は児童生徒よりもSNSについて詳しくあるべきだと思います。先生方は大変だとは思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>現状を報告してもらおうということですか。先生方の技術的なことも含めて。</p>
榎本委員	<p>そうですね。</p>
田中議長	<p>では、榎本委員の「SNSについて」とのご意見がございました。他にいかがでしょうか。</p> <p>特にないようでしたら、事務局からはいかがでしょうか。</p>
木村企画政策課 課長補佐兼係長	<p>委員さんから1つテーマが出たところですが、もう1つとして「子どもの貧困」をテーマにしてはいかがでしょうか。</p>
田中議長	<p>ただいま事務局から、「子どもの貧困」の提案がございました。皆様からの意見はいかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">〔「特になし」の声あり〕</p> <p>他にないようですので、次回のテーマは「SNSについて」と「子どもの貧困」について、事務局を通じて資料などを提供し、意見交換をさせていただきます。</p> <p>それでは以上で、本日予定した協議・調整が終了いたしました。ご協力ありがとうございました。</p> <p>これを持ちまして、議長の任を解かせていただきます。</p>

5 閉会

<p>司会 (関口総務部参事 兼企画政策課長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次回の会議開催でございますが、「SNSについて」及び「子どもの貧困」をテーマとして、協議・調整を実施いたします。</p> <p>日程につきましては、来年6月頃を予定しておりますが、時期が参りましたら、日程を調整いたしまして、改めて、ご連絡させていただきます。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、平成29年度第2回久喜市総合教育会議を終了させていただきます。</p> <p>長時間のご審議、大変お疲れ様でございました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
-------------------------------------	---

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成 29 年 12 月 1 日

久喜市長 田 中 暄 二

久喜市教育委員 坪 井 喜 代 子